



ダイヤモンド・プリンセス

運航: プリンセス・クルーズ

船籍: ロンドン U.K.

総トン数: 115,906トン

純トン数: 78,835トン

喫水: 8.572m - 28 ft.

全長: 288.33m - 946 ft.

全幅: 37.50m - 123 ft.

造船所: 三菱重工業株式会社

長崎造船所 & マチネリーワークス

起工: 2002年 4月2日

完成: 2004年 4月26日

船級協会: ロイドレジスター

乗客定員数: 3,100名

乗組定員数: 1,060名

ブリッジコマンドとコントロールチーム

船長	ステファノ・ラベラ	キャプテン・イン・コマンド
副船長	リチャード・ダルトン	セカンド・イン・コマンド、デッキデパートメント長
首席一等航海士	パスカーレ・ルッソ	船のセーフティーオフィサー
一等航海士	ササ・ネキウ・カムニカー	シニアウォッチオフィサー (ナビゲーター)
首席二等航海士	シモーネ・ゴダニ	シニアウォッチオフィサー
二等航海士	ドメニコ・アタニース	シニアウォッチオフィサー
二等航海士	ヴィンセンツォ・グアルダシオーネ	シニアウォッチオフィサー
三等航海士	ジャック・ジェームス・エドワード	ウォッチオフィサー
三等航海士	ミルコ・ヴィティエロ	ウォッチオフィサー
三等航海士	アントニオ・デルカ	ウォッチオフィサー (ログオーサー)
デッキ訓練生	マルコ・マステローネ	トレーニング・オフィサー
デッキ訓練生	ダリオ・サバース	トレーニング・オフィサー
デッキ訓練生	フィリッポ・カスティノ	トレーニング・オフィサー

1日24時間ブリッジ (操舵室) に2人のオフィサーが常駐しており、4時間勤務し8時間の休憩をとります。

0000-0400 - 0400-0800 - 0800-1200 - 1200-1600 - 1600-2000 - 2000-2400

ブリッジからお別れのメッセージ

このたびはダイヤモンド・プリンセスにご乗船いただき、誠にありがとうございます。皆様楽しんで、またリフレッシュしていただけた休日であることを願っております。明日はお気をつけてお帰りくださいますようお願いいたします。私キャプテンを含む、乗務員一同皆様のまたのご乗船をお待ちしております。

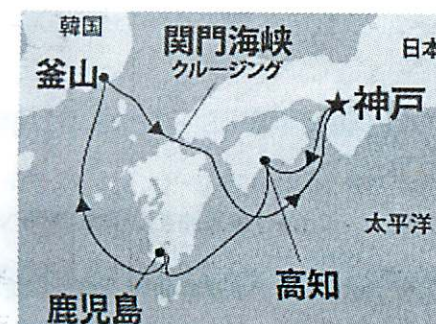
ステファノ・ラベラ 船長/ブリッジチーム (操舵室)

航海日誌 LOG OF THE CRUISE



明治維新150周年記念! 幕末ゆかりの地と韓国

ダイヤモンド・プリンセス — 2018年6月3日から6月8日まで



船長
ステファノ・ラベラ

ステファノ・ラベラ船長はイタリアの海の街ラ・スペツィアに隣接する小さな町、ヴェッツァーノ・リーグレで生まれました。彼は1987年イラン・イラク戦争下でのフリゲート艦シロッコの連絡将校など、イタリア海軍とイタリアの商船隊にて様々な階級で義務を果たしてきました。客船の船長としては、2004年3月にドーン・プリンセスで最初に指揮を執りました。ラベラ船長はカナダ、オンタリオ州チェスタービルに住むアレクセルとゾウイという名の二人の子の父です。休暇中は、ヴェッツァーノ・リーグレもしくは、南アフリカのヨハネスブルグでパートナーと時間を過ごしています。

クルーズ要約

港	距離 (海里)
神戸から高知	117
高知から鹿児島	265
鹿児島から釜山	298
釜山から関門海峡	103
関門海峡から神戸	279

神戸から神戸までの総航海距離

1,062海里 (NM) = 1,966キロメートル(km)

1 海里 (NM) = 1.85キロメートル(km)



以下は、ナビゲーションalブリッジにて当直のオフィサーが記録した航海日誌より抜粋したものです。

神戸 – 2018年6月3日 (日)

ダイヤモンド・プリンセスは、この日神戸の新港客船ターミナルに停泊しました。午後4時30分、操舵室はお客様全員の乗船、そして荷物、食品等の積荷の完了を確認しました。午後4時55分に係船索を取り外し、船を左舷側に旋回させゆっくりと出航しました。本船は右舷側に進路を変更し防波堤を通過後、神戸港を出て大阪湾へ入りました。ハーバーパイロットが下船後、ベイパイロットの案内のもと、南西に進路を取り引き続き大阪湾を航行しました。32海里ほど進み午後8時頃に大阪湾を抜けました。その後、高知へ向け南西へ進路を定め航行しました。

天候: ところに曇り
気温: 22°C / 72°F
気圧: 1018hPa
風力: 南西 (軟風)

高知 – 2018年6月4日 (月)

夜間、ダイヤモンド・プリンセスは引き続き日本の沿岸に沿い南西へ進みました。早朝、室戸岬を右舷側にそこから7海里沖を通過後、高知へ接岸の態勢に入るため北西に進路を変更しました。午前5時45分に地元の水先案内人が乗船後、防波堤の間を通過して港へ入り指定された停泊地7-3埠頭に接岸しました。

午後、全てのお客様と乗組員の乗船を確認し、地元当局より出航許可が下りた後、ダイヤモンド・プリンセスは係船索を取り外して出航しました。港を出てから水先案内人が下船し、間もなく本船は次の寄港地、九州の南端に位置する鹿児島へ向け南西に進路を取り航行しました。

天候: ところにより曇り
気温: 29°C / 84°F
気圧: 1014hPa
風力: 南東 (軟風)

鹿児島 – 2018年6月5日 (火)

夜間、鹿児島湾へ向け南西に進路を取り航行しました。午前3時頃、大隅半島に建つ重要な佐多岬灯台を右舷側に通過しました。鹿児島湾の入口に入り、パイロットステーションへ向け北へ進むため右舷側に進路を変更しました。午前7時40分に水先案内人が乗船し防波堤を通過しました。その後、船体を右舷側に旋回させ本船の左舷側を埠頭へ向けて接岸しました。午前8時35分までに係船索を固定し、午前8時45分にギャングウェイ (乗下船口) を設置しました。

全てのお客様と乗組員の乗船を確認し出航前点検を完了後、ダイヤモンド・プリンセスは出航しました。港を出た後、水先案内人が下船しました。その後間もなく、はじめの内は南へ進路を定め航行し、鹿児島湾の外側で次の寄港地、釜山へ向け北西に進路を定めました。

天候: 雨
気温: 20°C / 68°F
気圧: 1012hPa
風力: 南西 (疾風)



釜山 – 2018年6月6日 (水)

夜間ダイヤモンド・プリンセスは、釜山へ向け日本海を北に航行しました。釜山のパイロットステーションに到着し、水先案内人が乗船しました。

午前11時48分、防波堤の内側へ入りました。その後間もなく、ダイヤモンド・プリンセスは船首を右舷側に旋回させ停泊地へ向け接岸の態勢に入りました。午後12時40分、最初の係船索を船の前方より埠頭へ渡し10分後、船の左舷側を釜山港国際旅客ターミナル2へ向け接岸しました。

午後9時50分、全てのお客様と乗組員の乗船を確認し、出航前点検を完了後、ギャングウェイ (乗下船口) を取り外しました。その後、係船索を取り外しはじめ、数分後すべての係船索を引き上げました。そして関門海峡を通過し神戸へ向かうため航海を再開しました。

天候: 曇り
気温: 23°C / 73°F
気圧: 1009hPa
風力: 南西 10ノット (軟風)

終日航海日* – 2018年6月7日 (木)

夜間ダイヤモンド・プリンセスは、神戸へ向けて関門海峡を通過するため南東に進路を取り航行しました。午前5時15分、地元の水先案内人が乗船し、彼の案内のもと航行が難しい関門海峡を進みました。約2時間後に海峡を抜け瀬戸内海に入りました。水先案内人が小さなパイロットボートを使い下船後、周防灘を引き続き航行しました。周防灘を通過後、四国と九州を分ける豊後水道へ入りました。そして神戸の埠頭がある大阪湾へ向け、北東に進路を取り航行しました。

正午位置: 緯度: 33°05'N ・ 経度: 132°10'E
天候: ところにより曇り
気温: 22°C / 72°F
気圧: 1010 hPa
風力: 南東 風力 12ノット (和風)
風浪階級: なめらか

神戸* – 2018年6月8日 (金)

早朝、本船は紀伊水道に入り、淡路島と沖ノ島との狭い水路を通り大阪湾へ入りました。パイロットステーションへ向け北東に進み、接岸の態勢に入る前に地元の水先案内人が乗船して午前6時に神戸の指定された停泊地へ接岸しました。大阪湾を通過する友が島往復航行分離方式から指定された停泊地までの距離は約32海里でした。

天候: 本曇り
気温: 21°C / 70°F
気圧: 1010hPa
風力: 南 13ノット (和風)

*記載時推定